



○解答欄の記入は、1マスにつき1文字とすること。なお、英字・数字は1マスに2文字を目安とする。

1 まちづくりDXの内容の概説

まちづくりDXは、インターネットやIoT、AI、デジタルツイン技術を活用し、まちづくりに関する従来の空間的、時間的、関係的制約を外し、豊かな生活多様な暮らし方、働き方を支える「人間中心のまちづくり」の実現を目指す。①

① まちづくりDXの内容を書くのですよね。しかし、記述の内容は、まちづくりの方針のようになっています。

2 4つの重点取組テーマ

(1) 都市空間DX

XR技術等を活用した地域の景観形成における住民参加の促進や都市の緑化空間等の定量的把握と効果分析へのデジタル技術の活用を図る②。

② テーマにしては、内容が施策レベルです。もっと、目的やアウトラインを説明すべきではないでしょうか。※以下すべて同じ

(2) エリアマネジメントDX

駅まち空間におけるリアルタイム利用状況の見える化（駐車場満空情報、バス・タクシー待ち行列、駅や駅周辺の混雑状況、イベント時の混雑予測等）の推進を図る。③

③ エリアマネジメントとの関連性が分かりにくいです。

(3) まちづくりデータの高度化・オープンデータ化

令和 年度 技術士第二次試験答案用紙

○解答欄の記入は、1マスにつき1文字とすること。なお、英字・数字は1マスに2文字を目安とする。

まちづくりに関わる官民の主体が取得する多様なデータ  
のオープンデータ化を図る。例えば、大規模盛土  
造成地マップや都市計画基礎調査等の都市計画情報の  
高度化・オープンデータ化の推進があげられる。④

④ 高度化の説明がありません。

( 4 ) 3 D 都市モデルの整備・活用、オープンデータ  
化の推進

デジタル技術を活用した復興まちづくりの推進や自  
治体職員のデジタルスキルアップを支援する。⑤ 以上

⑤ タイトルにある「3D 都市モデルの整備・活用」の説明が全くなく、いきなり事例を挙げられても  
唐突すぎます。スキルアップも同様。また、オープンデータの説明がありません。